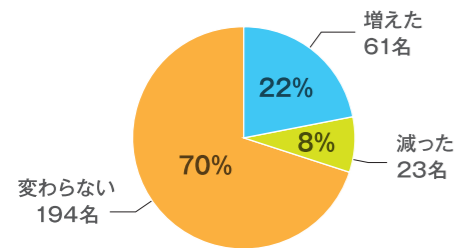
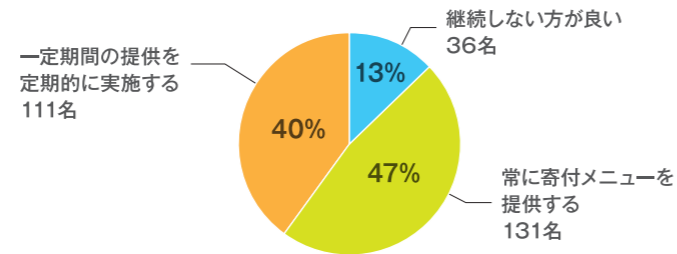


プロジェクトに対するアンケート結果 (回答総数278名)

Q WFP寄付メニューの提供期間中、4号館学食で食事する回数は増えましたか?



Q WFP寄付メニューは継続した方が良いと思いますか? 継続した方が良いと思う方は、常に寄付メニューがある方が良いと思いますか、あるいは、今回のように一定期間(2~3週間)の企画を定期的に行う方が良いと思いますか?



ご意見

- 募金活動も行っていいのかな、と思いました。募金BOXなどを作り、任意で賛同していただく方からお金を頂き子どもたちを救うのも1つの手だと思うので、是非参考にさせていただきたいです。
- この企画はとても良かったと思います。企画で問題の現状を知り考えることができますので。
- 気軽に支援に参加できるルートがキャンパスの中にあることはとても良いと思うし、普段学食で食べたことがなかったですが、この機会に食べて、おいしかったです!ありがとうございました。
- 今回の活動はとても良い行動。引き続き活動をして欲しい。
- そんなにお金がかからないのに貢献できたので非常にうれしいです。学食のメニューも豊富になりました。
- 今回、利用することができなかったため、次回はぜひ利用したい。

SDGsとは?

2015年9月、全国加盟国(193国)は、より良い将来を実現するために今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画「アジェンダ2030」を採択しました。この計画が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。SDGsは、ミレニアム開発目標で十分に手を打てなかった課題に加え、Rio+20で議論された深刻化する環境課題など17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって「誰も取り残されない」世界を実現しようという壮大なチャレンジです。

(出典: グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン WEBサイト <http://www.ungcjin.org/>)

貧困、飢餓の問題だけでなく教育のことや性的マイノリティー、ワークライフバランス、削減可能性都市の問題など日本でも身近な問題が取り上げられています。このようにSDGsは、直接、間接を問わず世界中の人々の生活に関係している課題です。

2030アジェンダが掲げる17のゴール



国連広報センターより引用

聖学院大学のSDGsの取り組み

SDGsのD (Development) は、途上国のみならず、先進国においても、より良い社会に向けた「発展」が必要なことを意味しています。SDGsの意義は、国や文化を越えた「共通言語」として、多様な人々やアイデアを結びつける点にあります。そして、「知の共同体」たる大学には、地域と世界をつなげる拠点として、地域の市民や企業、団体、行政などが連携・協働するためのプラットフォームとなり、グローバルな役割を果たすことが求められています。2019年度は、国連世界食糧計画(WFP)の大室直子さんを公開講演会の講師としてお招きしたご縁もあり、**SDGsのGoal 2「飢餓をゼロに」**に焦点を合わせた取り組みを行いました。今後も、学生・教職員が協力し、大学らしい取り組みを行っていきたく考えています。



グローバル・コンパクトへの署名・加入

学校法人聖学院は2018年4月、グローバル・コンパクトに署名・加入し、SDGsを目指した活動を行っています。2019年7月には第一回目のCOE(コミュニケーション・オン・エンゲージメント)を提出しました。

SDGs & Seig Newsletter 2019-2020

発行元/ 聖学院大学SDGsプロジェクトチーム
発行日/ 2020年3月25日

このプロジェクトに参加を希望する学生は
ボランティア活動支援センター(1号館1階1103教室)にご相談ください。




SDGs & Seig
Newsletter
2019-2020

聖学院大学 学生 × (株)レパスト

SDGsアクションプラン

「食べることで子どもたちの笑顔を増やそう」

～国連WFPを通じて発展途上国の子どもたちへ給食を～



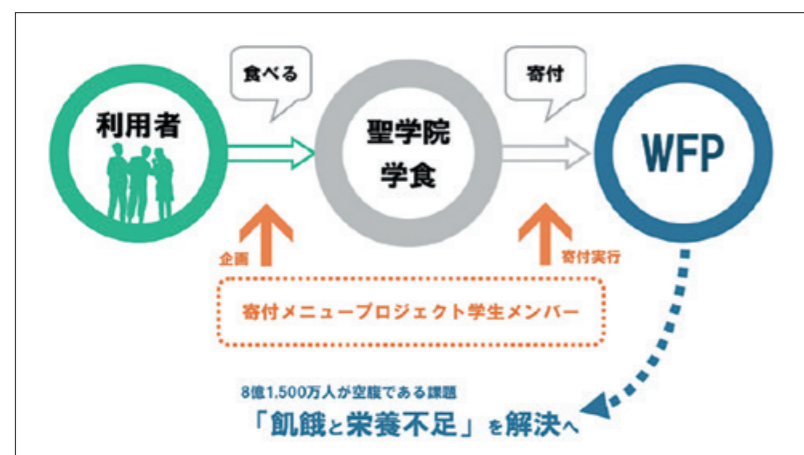
テレビ埼玉で 取材されました

2019年12月19日(木)放送
のテレビ埼玉「NEWS 545」
(17:45～18:15)でこのプロ
ジェクトが紹介されました。

発展途上国の子どもたちへの学校給食支援を行うため、2019年12月9日から12月23日のウィークデーに、学生食堂でSDGs寄付メニューを提供しました。

このプロジェクトは「食堂寄付メニュープロジェクト学生メンバー」が中心となり、教職員の協力のもと、学生×株式会社レパストのコラボレーションで実現しました。学生食堂の売上金の一部を国連WFP (World Food Programme: 世界食糧計画) に寄付する仕組みを利用した、誰でも参加できるSDGsアクションプランです。30円の寄付で、発展途上国の子どもたちに学校給食1食分を届けることができます。

現在、世界では9人に1人が食糧不足、特に子どもたちの4人に1人が飢餓に苦しんでいる状況があり、そうした子どもたちに栄養のある食事を届けることが緊急の課題となっています。そして、食糧支援の最前線で活動する国際機関であり、SDGsのGoal 2「飢餓をゼロに」の実現に向けて、中心的な役割を担っているのが国連WFPです。



Timeline of Action SDGs寄付メニュー これまでの動き



11/13 (水) 株式会社レパスト、総務課との打ち合わせ



11/22 (金) MTG 広報に関する打ち合わせ

11/25 (月) 株式会社レパスト、総務課より寄付メニュー実施の回答あり

11/27 (水) クリスマスツリー点灯祭で学生作成のチラシを配布



11/19 (火) WFPパネル作成作業

11/8 (金) MTG 寄付メニューについてアイデア出し

10/25 (金) プロジェクトに関心のある学生の募集開始、説明会を実施

9/24 (火) プロジェクトメンバーがWFPに訪問して打ち合わせ

11/5 (火) 上智大学にて寄付メニュー導入に関するヒアリングと試食ツアーを実施

11/29 (金) MTG 広報に関する打ち合わせ



12/2 (月) MTG 授業での寄付メニューPR活動開始～12/13(金)まで



12/19 (木) テレビ埼玉取材対応、夕方のニュースで放送される



12/23 (月) 食堂寄付メニュー提供終了

※MTG=寄付メニュープロジェクトミーティング

1/10 (金) MTG 進捗共有や今後についての話し合い

12/27 (金) 株式会社レパスト、総務課との振り返り1月にポテト限定100食販売決定

2/3 (月) MTG 進捗共有や今後についての話し合い

学生コメント

私たちは、聖学院大学内の学生にもっと世界の食糧問題や貧困問題を知って欲しいと思い、集まったチームです。

今回の活動は、2015年に国連で合意されたSDGs(持続可能な開発目標)の1つであるGoal 2「飢餓をゼロに」を実現する為に活動しているWFPさんに、学食を通しての募金活動で協力するというものです。SDGsやWFPという言葉は普段なんとなく聞いたことがあっても、その意味について詳しく知ろうと考える人はまだまだ少ない状況にあります。そのため、この活動を通して多くの人たちにこれらの言葉に込められた理念や活動を知ってもらい、一人ひとりの少しの勇気やアクションが、明日の地球や誰かの笑顔の為になる事を理解してもらえたらと思います。

私たちはできたばかりのチームなので、まだまだ人数は少ないですが、メンバーはみんな「自分に何かできる事はないか」と熱意を持って集まったメンバーです。今回の活動を通して、この熱意の輪を広げ、より多くの人に募金をしてもらい、更には私たちと共に活動をしてくれる人を増やすのが今後の目標です。



食堂寄付メニュープロジェクト学生メンバー
高橋 健太
政治経済学部
政治経済学科 3年

企画概要

期間: 2019年12月9日(月)～12月23日(月)のウィークデー(～15:00)
場所: 聖学院大学4号館1階 学生食堂
企画: 食堂寄付メニュープロジェクト学生メンバー(学生組織)
聖学院大学SDGsプロジェクトチーム(教職員組織)
寄付メニュー: サービスセット 400円(うち寄付額30円)
フライドポテト 150円(うち寄付額20円)【期間限定メニュー】
サラダ 100円(うち寄付額20円)【期間限定メニュー】

※フライドポテトが好評だったため、2020年1月6日からフライドポテトのみ、100食限定で提供。

寄付金の総額 **22,480円** (給食約750食分)



国連WFP

今回のプロジェクトからのご寄付で、およそ750人分の給食を途上国の学校に届けることができます。ご支援に心より御礼申し上げます。本企画を学生の皆さんが主体となって運営して下さったことに、とても頼もしさを感じています。「ポテトをつまみながら気軽に会話ができる楽しいのでは」「企画を進めるにあたりいろんな方をお願いすることになり、大変さが分かった」といった清々しい意見や感想が聞けたことも、参考となりました。SDGs達成を目指す2030年まで残り10年、これからも国際貢献に関する学びと実践を是非続けていってください。



特定非営利活動法人
国際連合世界食糧計画WFP協会
管理部マネジャー

瀬上 倫弘さん

国連WFPは国連機関であるWFP国連世界食糧計画(WFP)と、それを支援する民間窓口の認定NPO法人である国連WFP協会という二団体の総称です。WFPは飢餓と貧困をなくすことを使命とする国連唯一の食糧支援機関です。災害や紛争時の緊急支援、栄養状態の改善、学校給食の提供などを活動の柱に、毎年約80カ国で女性や子どもなど8,000万人に食糧支援を行っています。



クリスマスツリー点灯祭で配布したチラシ(表・裏)



株式会社レパスト

今回、聖学院大学の先生方と学生さんからお話をいただき、SDGsの取り組みについて初めて知りました。今回の企画では、生活の基礎である「食べる」という事を通して社会に貢献出来るところが素晴らしいと思いました。また、企画を進めていく中で、普段はあまり聞くことのできない学生さんの声や、食堂を利用して下さっている方のご意見をいただけた事が大変有難かったです。参加させていただき、「食」の大切さについて改めて気付かされました。今後とも出来る事がありましたら、協力させていただきたいと考えております。



株式会社レパスト
北関東支店
聖学院大学4号館レパスト食堂
所長

坂田 佳耶さん

レパストは1955年に東京都中央区銀座で創業し、給食や社員食堂などをご提供するコントラクトフードサービスを半世紀以上にわたってご提供してきました。安全な食事、健康的な食事、あたたかな食事を、心を込めた調理とおもてなしで日々お届けし、人びとの営みの中で最も身近な「食」を通じてお客様を心の底から笑顔にすることが、私たちの事業の源です。



作成した「WFPパネル」を食堂に展示